

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	在宅高齢者介護予防・生活支援事業				会計	款	項目	大	小
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者生きがい推進課					
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	横山 友二					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	自力での外出が困難な65歳以上の市民	意図	外出困難な高齢者に対して理髪の機会の確保及び通院等を支援し、在宅生活の継続、質の向上を図る。					
事業内容	訪問による理美容サービスを年6回利用できる。また、市から委託された事業者の移送車両により、利用者の自宅から利用している施設や病院等の入り口までの移動及び乗降の介助を行うなど、必要とする保健、医療、福祉サービスの支援を行う。								
事業開始から現在までの状況変化	訪問理美容サービス、外出支援サービスとも高齢者へのアンケート調査に基づいて、平成13年4月に開始したサービスであり、過去3年間の年度末における登録者数の平均は、訪問理美容サービス21名及び外出支援サービス118名である。								

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
①	訪問理美容サービス（月平均）	5	5	6	人	↑↑↑	
	訪問理美容サービス利用回数	59	55	69	回	↑↑↑	
	外出支援サービス利用者人数（月平均）	70	69	72	人	↑↑↑	
	外出支援サービス利用回数	2,815	2,732	2,519	回	↑↑↑	
指標で表すことができない定性的な成果	低所得者に対して低額での通院時の送迎を行うことにより生活費の安定を図ることができる。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 前年度より利用者や利用回数は若干増加している。登録者数は訪問理美容サービスが前年度から1名減、外出支援サービスが前年度から4名増加している。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		10,837,700	10,594,600	11,208,700			
事業費(b)(円)		6,645,500	6,448,600	6,690,700			
うち一般財源		6,645,500	6,448,600	6,690,700			
職員給与費(c)(円)		4,192,200	4,146,000	4,518,000			
人役・職員(人)		0.60	0.60	0.60			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	申請者の実態調査で、親族等の協力による自立生活の可能性を見極め、当該サービスが必要かどうかの判定をすることで、対象者の適正化を図る。	③取組の課題	高齢者人口の増加とともに対象者の増加が見込まれるが、サービスを減退することなく継続していく必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	実態調査に時間をかけ、丁寧な審査を実施することで、対象者の適正化を図った。	④今後の改善計画	継続可能な事業とするため、引き続き訪問調査時に実態調査を丁寧に行い、対象者の適正化を図る。